

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
974		「子どもと親の相談員」活用調査研究事業	01		一般会計
			10		教育費
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	01		教育総務費
			03		義務教育振興費
担当部課名		教育部 学校教育課	102		児童生徒指導経費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先 22-9676	細々目	17	「子どもと親の相談員」活用調査研究事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	青山小学校児童とその保護者	子どもたちの教育にかかわる悩み等を気軽に相談することで、子どもたちの心身の成長を支援することができ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができます。
本年度事業内容	1. 相談員による教育相談	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.125	0.25	0.25
人件費合計(A)	900	1,800	1,800
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	345	345	345
委託料			
報償費	315	315	315
その他	30	30	30
合計(A+B)	1,245	2,145	2,145
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	345	345	345
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	900	1,800	1,800
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
教育相談回数	回	90	90	90			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
児童の問題行動の発生件数	児童による暴力行為、いじめ、不登校について、その発生件数を指標としました。	件	44 目標 ( 30 )	28	25
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

小学校における不登校や暴力行為等の未然防止と早期発見、早期対応のため、児童やその保護者が気軽に悩みなどを相談できる第三者的な存在として相談員を配置しています。実際、子どもたちから寄せられる相談の内容は、勉強のことや友達のことなど学校生活での内容が多く、相談員が聴くことで、子ども自身が解決の方向を見出していく事例もあります。また、気にかかる訴えがあったときには、訴えた子どもを大事にしながら教職員や保護者の支援体制を確かめ合うきっかけにもなっています。

評価	必要性	4	子どもの心を育てるという観点から、小学校においても十分な教育相談体制と支援が必要です。限られた学校だけの配置となっているので、今後は、配置小学校数を増やしていくことを検討していかなければならないと考えます。	総合評価 <b>B</b>
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	3		